

病態制御医学講座 内科学（3）

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	石塚 全	平成24年12月ー
准教授	此下 忠志	平成12年6月ー（令和5年5月退職）
講師	梅田 幸寛	平成12年4月ー平成13年4月 平成16年10月ー（令和3年4月ー現職）
講師	早稲田 優子	平成29年4月ー（令和3年4月ー現職）
助教	安齋 正樹	平成10年4月ー平成11年2月 平成14年4月ー平成14年9月 平成21年4月ー平成26年1月ー（令和5年10月退職）
特命講師	銭丸 康夫	平成15年7月ー平成17年9月 平成23年8月ー（平成30年4月ー現職）
助教	佐藤 さつき	平成18年5月ー平成18年12月 平成23年4月ー（令和3年2月ー現職）
特命助教	齊藤 理恵	平成31年4月ー（令和2年4月ー現職）
特命助教	園田 智明	令和4年4月ー
特命助教	本定 千知	令和4年4月ー
特命助教	山口 牧子	令和4年4月ー
特命助教	三ツ井 美穂	令和4年4月ー
助教	門脇 麻衣子	令和4年4月ー
特命助教	島田 昭和	令和4年4月ー

2. 研究概要

研究概要

【呼吸器グループ】

1. FDG-PETの呼吸器疾患診断への臨床応用

活性化した炎症細胞では、GLUT発現の亢進やHexokinaseの活性化が報告されており、悪性腫瘍以外の炎症性疾患にも集積が見られる。当科では高エネルギー医学研究センターと共同し肺癌のみならず様々な炎症性肺疾患のデータの集積を継続している。

2. 新しいトレーサーを用いたPETによる肺癌診断への応用

腫瘍診断において一般的に用いられているFDGに加え、チミジンのアナログであり細胞増殖のマーカーとなりうる18F-FLTを用いたPET画像の検討を継続中である。

3. MRI、FDG-PET/MRIの呼吸器疾患診療への臨床応用

胸部病変の診断に対するMRIの有用性は、近年、拡散強調画像やSTIR像などの撮像シークエンスの改良によりその有用性は高まっている。当グループでもMRIを肺癌診療に取り入れ、臨床的研究を継続している。さらに免疫チェックポイント阻害薬の治療効果予測におけるFDG-PET/MRIの有用性の検討を実施中である。

4. 仮想気管支鏡と極細径気管支鏡およびガイドシース気管支鏡内超音波断層法の有用性の検討

当院では仮想気管支鏡（Virtual Bronchoscopic Navigation）システム、極細径気管支鏡、ガイドシース気管支鏡内超音波断層法（EBUS-GS）システム、超音波気管支鏡ガイド下針生検システム（EBUS-TBNA）、等を導入し、それら新しいデバイスの有用性を検討している。

5. 細胞外酸性の慢性気道炎症、気管支喘息の病態へ及ぼす影響に関する研究

ヒト気道上皮細胞およびヒト気管支平滑筋細胞に発現し、細胞外酸性を感知する受容体（プロトン感知性Gタンパク質共役型レセプター）の一つであるOvarian cancer G-protein-coupled receptor 1（OGRI）の気道炎症における役割について基礎的研究を進めている。

6. 非小細胞肺癌に対する2次化学療法に関する臨床試験

非小細胞肺癌に対するアルブミン結合型パクリタキセルの効果と安全性に関する臨床試験を主任研究機関として実施し、試験を終了し、学術論文を発表した（Medicine (Baltimore) 96: 51(e9320), 2017）。

7. 重症・難治性喘息に関する臨床研究

重症喘息患者に対する分子標的薬（オマリズマブ、メボリズマブ、ベンラリズマブ）の効果と安全性に関する検討を行っている。また、2015年度に重症喘息に対する新規非薬物療法（気管支サーモプラスティ）を国公立大学として国内で最初に実施したが、症例を集積している。また、CT画像を用いて分子標的薬、気管支サーモプラスティの気管支壁肥厚などの評価を行っている。気管支サーモプラスティに関して施設共同研究にも参加している。

8. コントロール不良糖尿病患者における結核発病リスクに関する研究

HbA1cが7以上の患者（呼吸器内科または内分泌代謝内科入院中）に同意を得たうえでクオンティフェロン検査を行い、目標症例200例の検査を終了した。

【内分泌・代謝グループ】

1. RAS系コンポーネントの遺伝子発現に関する研究を進展させ“アンジオテンシンIV受容体の新規高感度測定系による分子遺伝学的ならびに臨床的評価”について検討。（文部科学省科学研究費補助金 基盤研究）

2. 日本学術振興会二国間交流事業協同研究「子癩前症の早期診断に関連する諸因子に及ぼすHIV感染の影響」を南アフリカ共和国と実施。（JSTプロジェクト）

3. “ゲノム情報を活用した糖尿病の先駆的診断・治療法の開発研究”（独立行政法人医薬基盤研究所 保健医療分野における基礎研究推進事業研究プロジェクト）分担分（2005年～2010年）で得られた成果について、発展的に継続。

4. 共同研究体、Genomic Disease Outcome Consortium (G-DOC) Study InvestigatorsをUMIN-CTRに登録し遺伝子コホート研究を展開。

5. “脂肪心筋”の病態生理と治療法に関する研究：

肥満・糖尿病患者で認められる“脂肪心筋”が心機能を障害するメカニズムは十分に解明されていない。我々は脂肪滴関連蛋白Perilipin (PLIN) 2に着目し、PLIN2が脂肪心筋の発生と心機能に与える影響をtransgenic/knockoutマウスを作製して解析している。近年、PLIN2過剰発現による脂肪心筋は心房細胞を誘発することを発見し、そのメカニズムを報告した。また、高度の脂肪心筋をきたして早期に心不全に至るATGL欠損マウスを用いて、脂肪心筋に対する遺伝子治療や薬物治療の効果を検討している。これらの研究により生活習慣病患者に合併する“脂肪心筋”の病態生理を解明し、その予防法、治療法を確立することが目標である。

6. 心筋のエネルギー代謝に関する研究：

心筋はグルコースと脂肪酸を主なエネルギー源として利用するが、糖尿病、肥満症や飢餓状態では脂肪酸を主なエネルギー源とする。しかし過度の脂肪酸利用はミトコンドリアなどに負荷を与えるため、心筋細胞は遺伝子レベルで様々な防御機構を働かせている。我々はマイクロアレイの解析から脂肪酸利用に反応して誘導される酵素群を抽出し、それらの機能を1g/KOマウスモデルを用いて解析している。中でもケトン合成酵素HMG-CoA synthaseのmRNAが絶食や脂肪酸負荷で著明に増加することに着目し、心筋特異的過剰発現マウスを作製して解析している。

7. 糖尿病管理に関する臨床研究：

糖尿病血管障害の抑制には食後高血糖管理が重要であるが、入院インスリン治療者の約80%では食後1時間血糖値は十分に管理されていない。食後血糖値の完全なる正常化を目指して、インスリン、インクレチン製剤や各種内服薬により食後早期の血糖上昇を抑制する方法を検討している。また、続血糖モニタリングシステム（CGMS）を応用した新たな糖尿病管理法を探索している。

キーワード

【呼吸器グループ】 肺がん診断、間質性肺炎診断、PET、MRI、仮想気管支、極細径気管支鏡、肺がん治療、重症気管支喘息、分子標的薬、気管支サーモプラスティ、プロトン、慢性気道炎症

【内分泌・代謝グループ】 糖尿病学、高血圧学、内分泌代謝学、動脈硬化学、メタボリックシンドローム、レニン-アンジオテンシン系、レニン遺伝子、遺伝子多型、脂肪心筋（症）、糖尿病性心筋症、遺伝子多型脂肪心筋（症）、糖尿病性心筋症、エネルギー代謝

業績年の進捗状況

【呼吸器グループ】

1. 疾患活動性評価の難しい特異性間質性肺炎の診断・予後評価に2時相FDG-PETが有用であることをEur J Nucl Med Mol Imagingに報告した。さらに症例を蓄積し、早期像と遅延像でのFDGの集積の変化率が長期生命予後に関連することを検証した。この内容を欧州呼吸器学会(Barcelona 2013)で発表し、その成果がJ Nucl Med誌に掲載された(Umeda Y. et al. J Nucl Med 56: 1869-75, 2015)。
間質性肺炎の治療早期効果判定への2時相FDG-PET画像の有用性に関する検討を2012年度から開始し現在症例集積中である。
2. これまで我々は当施設の高エネルギー医学研究センターと共同して肺癌におけるFLT-PET画像所見と無増悪生存期間と全生存期間の関係を検討し、日本肺癌学会総会(京都 2014)で報告した。全身化学療法による血液毒性の予測因子としての脊椎へのFLT集積の有用性について、日本呼吸器学会(大阪)で発表し、現在学術誌への投稿中である。
3. 放射線科、呼吸器外科と合同で、FDG-PETとMRIの肺癌に対する化学療法の効果判定における有用性について検証し、学術誌に掲載された(J Magn Reson Imaging 38:80-88, 2013)。免疫チェックポイント阻害薬の治療効果予測におけるFDG-PET/MRIの有用性を評価するために症例集積中、学会発表を予定している。
4. 当院の肺野末梢病変における細細気管支鏡と仮想気管支鏡との組み合わせによる診断率の検討を全国他5つの施設と多施設共同研究し、学術誌に掲載された(Am J Respir Crit Care Med 188:327-333, 2013)。
また、当院での仮想気管支鏡とガイドドゥース気管支鏡内超音波断層法(EBUS-GS)システムによる小型肺結節の診断能に関わる因子を検討し、FDG集積の程度とCT上の関与気管支の有無が重要であることを検証し、報告した(Lung Cancer 85: 47-52, 2014)。さらに、現在前向き研究として肺の良性・悪性の末梢病変に対して気管支鏡診断とPET所見の解析を行っている。
5. ヒト気道上皮細胞株、およびヒト気管支平滑筋細胞を用いて、細胞外酸性で変動する遺伝子(mRNA)を網羅的に解析した。ヒト気管支平滑筋細胞から細胞外酸性刺激によって分泌されるIL-8産生について、関与する細胞内シグナル伝達経路とステロイドによるIL-8産生抑制効果について研究を進め、論文投稿準備中である。
6. 免疫チェックポイント阻害薬使用後のアルブミン結合型バクリタキセル単剤療法の有効性と安全性に関する第二相試験を開始し、症例を集積している。
7. 気管支サーマブラスティ、分子標的薬の効果の評価に関して、日本呼吸器病学会学術講演会(大阪)日本呼吸器内視鏡学会(東京)で発表した。現在症例を集積中である。
8. コントロール不良糖尿病の結核発病リスクに関する研究を本年度、日本呼吸器学会学術講演会(京都)、日本結核病学会(金沢)で発表し、現在、論文の投稿準備中である。

【内分泌・代謝グループ】

これまで網羅的トランスクリプトーム解析により、糖尿病/高血圧を識別しうる比較的確なクラスター形成を得たのち、Gene Ontology, Pathway 解析からangiotensin II消去系全般の発現低下が示唆され、real-time PCR法での解析を完了し、AT4について可溶部分に対し抗体を設定し測定系を構築、測定条件の適正化も完了し実測し一定の成績を得てきたが、この後継研究として新規の文部科学省科学研究費補助金を得て、この高感度測定系のキットの作成を継続している。

これまでヒトレニン遺伝子転写調節機構解析による知見など(Kidney Int 1996, J Cell Biochem 2004, J Cell Biochem 2007)に基づき、Ca拮抗薬におけるレニン-アンジオテンシン系活性化の程度を検討し(J Hypertens 2010)、Caチャネル遮断薬の特性を比較評価し抗アルブミン尿効果の差異を解明(Int J Cardiol 2013)。さらに継続して地域協力病院との大規模コホート(G-DOC Study Investigators)を用い、遺伝子転写レベルの研究からのトランスレショナルスタディとしての臨床研究を展開し、レニン遺伝子型についてゲノム薬理学的な成績を報告したが(Diabetes Care 2009, Curr Hypertens Rep 2011)、さらに血漿濃度との関係を明らかにした(Medicine 2014)。また、グループの市川らは糖尿病有病率と関連する遺伝子として、レニン-アンジオテンシン系のうち、アルドステロン合成酵素の意義を明らかにした(Acta Diabetologica 2014)。大学院生の牧野によりレニン遺伝子型による組織発現量の関係が明らかとされた(PLoS One 2015)。2015年度に日本学術振興会二国間交流事業による南アフリカ、クワズルナタール大学から大学院生が1名来日約3か月滞在し、所定の実験を実施し完了したが、その成果を3本の論文にまとめ投稿中である。また、レニン-アンジオテンシン系に関連した臨床研究として、ARBへのN型Caチャネルの降圧薬としての効果についての論文を国際的学術誌に掲載している(Biosci Rep 2016)。

脂肪心筋が不整脈を誘発する病態生理を解明するため、心筋特異的PLIN2過剰発現マウスを用いて解析を行っている。心筋PLIN2の過剰発現による脂肪心筋がギャングジャンクション蛋白コネクシン43の細胞内局在性を変化させるメカニズムを解明するため、心筋脂質のリビドーム解析を行った。その結果、PLIN2による脂肪心筋では21種類のトリグリセリドと2種類のジアシルグリセロールが増加し、2種類のフォスファチジルエタノールアミンが減少していることを発見し、日本糖尿病学会および日本動脈硬化学会にて報告した(佐藤)。さらにPLIN2による脂肪心筋はGLP-1アゴニストのデュラグルチドで著明に改善することを同学会にて報告した(鈴木)。

特色等

【呼吸器グループ】

PET研究をはじめ総合画像診断の分野では当大学が最先端を走っており、呼吸器疾患の分野においても、当大学の高エネルギーセンターとの共同研究のもと、当グループによる研究成果が国内外で評価され、論文発表に繋がってきている。とくに、肺癌診断のみならず、他の肺疾患においても、PET画像やMRI画像による質的診断が有用であることが明らかとなり、新しい診断技術の開発に繋がっている。平成22年度から、本学高エネルギー医学研究センターと共同で肺癌の診断・治療反応性・予後評価におけるFLT-PETの有用性に関する検討も開始している。現在、18F-FLTをトレーサーとして用いることができる施設は限られ、肺癌における報告も世界的に見て限られており、本研究は非常に先駆的な内容である。さらに、高エネルギー医学研究センターにPET/MRIが導入され、肺がんの免疫チェックポイント阻害薬の効果予測に関する研究を開始した。

肺癌治療における組織型診断は、個別化治療の進歩に伴ってより重要となっており、各種気管支鏡による診断率の向上は重要である。当施設は気管支鏡診断の技術は全国でもトップクラスであり、実臨床において必要な肺癌診断に対し、高い診断率を誇っている。

気管支喘息の管理は吸入ステロイド薬を中心とした標準的治療法により飛躍的に改善したが、治療抵抗性の難治性喘息の病態の解明、COPDと喘息の合併患者の治療、管理、新規治療の開発は重要である。

【内分泌・代謝グループ】

1. 国際機関の共同研究 RA系遺伝子のクローニングやACE遺伝子多型の発見と応用など、国際的な第一人者であるフランス国立医学研究所College de FranceのCorvol教授を中心としたグループ(仏 パスツール研究所、米 Emory Universityを含む)との共同研究を継続。南アフリカ共和国クワズルナタール大学との国際交流共同研究を展開。
2. 関連病院との共同研究 全国10都府県、40施設にわたる共同研究、Genomic Disease Outcome Consortium (G-DOC) Study InvestigatorsとしてUMINIに登録して活動。
3. 学会診療ガイドライン作成への関与。
4. 脂肪心筋の病態生理に関して、米国Stanford大学内科・内分泌代謝学Kraemer教授研究室と共同研究を継続している。

本学の理念との関係

【呼吸器グループ】

- 1) トランスレショナルリサーチ(基礎的な研究成果の臨床応用)に繋がる研究を行っている。
- 2) 呼吸器疾患の新たな画像診断技術の創設に寄与している研究と考えられる。

【内分泌・代謝グループ】

福井大学の重点領域の1つである「生体における分化・増殖などの情報伝達・制御機構、高次生体システムの発達・構築とその維持機構、及びそれらの異常の解明を通じ、生まれ、健やかに育ち、老いる過程に関する世界的に優れた研究を行う」に該当。

3. 研究実績

区分	総数		インパクトファクター(うち原著のみ)	
	2016~2021年分	2022年分	2016~2021年分	2022年分
和文原著論文	17	2	—	—
英文論文	ファーストオーサー	22	93.705(91.275)	14.154(14.154)
	コレスポンディングオーサー	22	109.18(106.75)	7.478(7.478)
	その他	43	85.569(77.409)	114.88(114.88)
	合計	67	26	197.023(186.433)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

- 2230198** Kaira K, Yamaguchi O, Naruse I, Umeda Y (contributed equally as second author), Honda T, Watanabe S, Ichikawa K, Yanagisawa S, Kasahara N, Higuchi T, Hashimoto K, Miura Y, Shiono A, Mouri A, Imai H, Iizuka K, Ishizuka T, Minato K, Suda S, Kagamu H, Mori K, Seki N, Kuji I: Comparative analysis of different response criteria at early phase after PD-1 blockade in non-small lung cancer. *Cancer Imaging*, 23(1), 23-23, 20230301, DOI: 10.1186/s40644-023-00538-x, #5. 605
- 2230199** Ogawa A, Tsujiguchi H, Nakamura M, Hayashi K, Hara A, Suzuki K, Miyagi S, Kannon T, Takazawa C, Zhao J, Kambayashi Y, Shimizu Y, Shibata A, Konoshita T, Suzuki F, Tsuboi H, Tajima A, Nakamura H: Higher intake of vegetable protein and lower intake of animal fats reduce the incidence of diabetes in non-drinking males: A prospective epidemiological analysis of the shika study. *Nutrients*, 15(4), 1040-1040, 20230219, DOI: 10.3390/nu15041040, #6. 706
- 2230200** Tsuda T, Imai H, Nagai Y, Umeda Y, Shiono A, Shiihara J, Yamaguchi O, Mouri A, Kaira K, Ishizuka T, Taniguchi H, Kagamu H: Intermittent administration of atezolizumab with combined carboplatin and etoposide therapy for patients with extensive-disease small cell lung cancer. *Oncol Lett*, 25(3), 111-111, 20230202, DOI: 10.3892/ol.2023.13696, #3. 111
- 2230201** Shiono A, Imai H, Wasamoto S, Tsuda T, Nagai Y, Minemura H, Yamada Y, Kishikawa T, Umeda Y, Takechi H, Yamaguchi O, Mouri A, Kaira K, Taniguchi H, Minato K, Kagamu H: Real-world data of atezolizumab plus carboplatin and etoposide in elderly patients with extensive-disease small-cell lung cancer. *Cancer Med*, 12(1), 73-83, 202301, DOI: 10.1002/cam4.4938, #4. 711
- 2230202** Kuwana M, Bando M, Kawahito Y, Sato S, Suda T, Kondoh Y, CTD-ILD Delphi Collaborators.: Identification and management of connective tissue disease-associated interstitial lung disease: evidence-based Japanese consensus statements. *Expert Rev Respir Med*, 17, 1-10, 202301, DOI: 10.1080/17476348.2023.2176303, #4. 3
- 2230203** Nakashima K, Demura Y, Tada T, Akai M, Ishizuka T: Palliative surgery for malignant superior vena cava obstruction resistant to immunotherapy: a case report. *Ann Palliat Med*, 12(1), 188-192, 202301, DOI: 10.21037/apm-22-839 (症例報告), #1. 925
- 2230204** Ishizuka T, Menzies-Gow A, Okada H, Fukushima Y, Hayashi N, Colice G, Ponnarambil S, Hunter G, Odajima H, Ebisawa M: Efficacy and safety of tezepelumab in patients recruited in Japan who participated in the phase 3 NAVIGATOR study. *Allergol Int*, 72(1), 82-88, 202301, DOI: 10.1016/j.alit.2022.07.004, #7. 478
- 2230205** Wasamoto S, Imai H, Tsuda T, Nagai Y, Minemura H, Yamada Y, Umeda Y, Kishikawa T, Shiono A, Kozu Y, Shiihara J, Yamaguchi O, Mouri A, Kaira K, Kanazawa K, Taniguchi H, Kaburagi T, Minato K, Kagamu H: Pretreatment glasgow prognostic score predicts survival among patients administered first-line atezolizumab plus carboplatin and etoposide for small cell lung cancer. *Front Oncol*, 12, 1080729, 20230120, DOI: 10.3389/fonc.2022.1080729, #5. 738
- 2230206** Nakai S, Suzuki F, Okamoto S, Miyagi S, Tsujiguchi H, Hara A, Nguyen TTT, Shimizu Y, Hayashi K, Suzuki K, Kasahara N, Nakamura M, Takazawa C, Kannon T, Tajima A, Tsuboi H, Ogin N, Konoshita T, Takamura T, Nakamura H: Association between Bone Mineral Density and Oral Frailty on Renal Function: Findings from the Shika Study. *Healthcare (Basel)*, 11(3), 314-314, 20230120, DOI: 10.3390/healthcare11030314, #3. 16
- 2230207** Fukushima S, Suzuki F, Tsujiguchi H, Hara A, Miyagi S, Kannon T, Suzuki K, Shimizu Y, Nguyen TTT, Yanagisawa T, Oku F, Sato K, Nakamura M, Hayashi K, Shibata A, Konoshita T, Kambayashi Y, Tsuboi H, Tajima A, Nakamura H: Relationships among depressive symptoms, body weight, and chronic pain: A cross-sectional analysis of the shika study. *Behav Sci (Basel)*, 13(2), 86-86, 20230120, DOI: 10.3390/bs13020086, #2. 286
- 2230208** Sato K, Suzuki F, Tsujiguchi H, Hara A, Kannon T, Miyagi S, Suzuki K, Nakamura M, Takazawa C, Shibata A, Tsuboi H, Shimizu Y, Nguyen TTT, Konoshita T, Ono Y, Hayashi K, Tajima A, Nakamura H: Relationship between vitamin intake and resilience based on sex in middle-aged and older Japanese adults: Results of the shika study. *Nutrients*, 14(23), 5042-5042, 20221127, DOI: 10.3390/nu14235042, #6. 706
- 2230209** Masubuchi K, Imai H, Wasamoto S, Tsuda T, Minemura H, Nagai Y, Yamada Y, Kishikawa T, Umeda Y, Shiono A, Takechi H, Shiihara J, Kaira K, Kanazawa K, Taniguchi H, Kaburagi T, Kagamu H, Minato K: Post-progression survival after atezolizumab plus carboplatin and etoposide as first-line chemotherapy in small cell lung cancer has a significant impact on overall survival. *Thorac Cancer*, 13(19), 2776-2785, 202210, DOI: 10.1111/1759-7714.14621, #3. 223
- 2230210** Yanagisawa T, Suzuki F, Tsujiguchi H, Hara A, Miyagi S, Kannon T, Suzuki K, Shimizu Y, Nguyen TTT, Oku F, Sato K, Nakamura M, Hayashi K, Shibata A, Konoshita T, Kambayashi Y, Tsuboi H, Tajima A, Nakamura H: Hypertension and Low Body Weight Are Associated with Depressive Symptoms Only in Females: Findings from the Shika Study. *Behav Sci (Basel)*, 12(11), 413-413, 20221027, DOI: 10.3390/bs12110413, #2. 286
- 2230211** Uda S, Yamada T, Yoshimura A, Goto Y, Yoshimine K, Nakamura Y, Shiotsu S, Yokoi T, Tamiya N, Kimura H, Chihara Y, Umeda Y, Izumi M, Takeda T, Yamada T, Hibino M, Hiranuma O, Ito K, Okada A, Osugi S, Takemura Y, Ishii H, Chibana K, Hasegawa I, Morimoto Y, Iwasaku M, Tokuda S, Takayama K: Clinical impact of amrubicin monotherapy in patients with relapsed small cell lung cancer: a multicenter retrospective study. *Transl Lung Cancer Res*, 11(9), 1847-1857, 202209, DOI: 10.21037/tlcr-22-160, #4. 726
- 2230212** Nishioka Y, Toyoda Y, Egashira R, Johkoh T, Terasaki Y, Hebisawa A, Abe K, Baba T, Fujikura Y, Fujita E, Hamada N, Handa T, Hasegawa Y, Hidaka K, Hisada T, Hisata S, Honjo C, Ichikado K, Inoue Y, Izumi S, Kato M, Kishimoto T, Okamoto M, Miki K, Mineshita M, Nakamura Y, Sakamoto S, Sano M, Tsukada Y, Yamasue M, Bando Y, Homma S, Hagiwara K, Suda T, Inase N.: Nationwide retrospective observational study of idiopathic dendriform pulmonary ossification: clinical features with a progressive phenotype. *BMJ Open Respir Res*, 9(1), e001337-e001337, 202209, DOI: 10.1136/bmjresp-2022-001337, #5. 054
- 2230213** Komatsu M, Yamamoto H, Matsui S, Terasaki Y, Hebisawa A, Iwasawa T, Johkoh T, Baba T, Miyamoto A, Handa T, Tomii K, Waseda Y, Bando M, Ishii H, Miyazaki Y, Yoshizawa A, Takemura T, Kawabata Y, Hanaoka M, Ogura T: Respiratory lesions in IgG4-related disease: classification using 2019 American College of Rheumatology/European League Against Rheumatism criteria. *ERJ Open Res*, 8(3), 00120-2022, 20220912, DOI: 10.1183/23120541.00120-2022, #4. 239
- 2230214** Nakashima K, Azuma T, Ohta R, Fujii Y, Sato M, Igarashi K, Kadowaki M, Umeda Y, Waseda Y, Anzai M, Kobayashi M, Ishizuka T: Successful treatment with lenvatinib in a patient with thymic carcinoma presenting with cardiac tamponade: a case report and review of literature. *Anticancer Drugs*, 33(8), 761-764, 20220901, DOI: 10.1097/CAD.0000000000001332 (症例報告), #2. 389
- 2230215** Nonoyama T, Shigemi H, Kubota M, Matsumine A, Shigemi K, Ishizuka T: Neuromuscular electrical stimulation in the intensive care unit prevents muscle atrophy in critically ill older patients: A retrospective cohort study. *Medicine (Baltimore)*, 101(31), e29451-e29451, 20220805, DOI: 10.1097/MD.00000000000029451, #1. 817
- 2230216** Fujisaki M, Hasegawa T, Oyama N, Yamaoka K, Anzai M, Hasegawa M.: Erythema annulare centrifugum in the setting of COVID-19 infection: A case report and literature review. *J Cutan Immunol Allergy*, 6(2), 57-58, 20220720, DOI: 10.1002/cia2.12274 (症例報告)
- 2230217** Yamaguchi O, Kaira K, Naruse I, Umeda Y, Honda T, Watanabe S, Ichikawa K, Tateishi K, Kasahara N, Higuchi T, Hashimoto K, Shinomiya S, Miura Y, Shiono A, Mouri A, Imai H, Iizuka K, Ishizuka T, Minato K, Suda S, Kagamu H, Mori K, Kuji I, Seki N: Prospective assessment using 18 F-FDG PET/CT as a novel predictor for early response to PD-1 blockade in non-small-cell lung cancer. *Sci Rep*, 12(1), 11832-11832, 20220712, DOI: 10.1038/s41598-022-15964-3, #4. 997

- 2230218** Sato M, Waseda Y, Sonoda T, Tanizawa A, Itoh H, Kobayashi M, Takemura T, Ishizuka T.: Bronchiolitis Obliterans Syndrome after Hematopoietic Stem Cell Transplant Diagnosed Using Ultrathin Bronchoscopy. *Am J Respir Crit Care Med*, 206(1), e1-e3, 20220701, DOI: 10.1164/rccm.202109-20731M (症例報告), #30.528
- 2230219** Nakashima K, Sakai Y, Hoshino H, Umeda Y, Kawashima H, Sekido Y, Ishizuka T, Kobayashi M: Sulfated Glycans Recognized by S1 Monoclonal Antibody can Serve as a Diagnostic Marker for Malignant Pleural Mesothelioma. *Lung*, 200(3), 339-346, 202206, DOI: 10.1007/s00408-022-00531-4, #3.777
- 2230220** Torii A, Saka H, Clapp T, Eitel C, Honjo C, Anzai M, Oki M: Removal of a foreign body by rigid bronchoscope after virtual reality-aided presurgical planning: A case report. *Respir Med Case Rep*, 38, 101698-101698, 20220630, DOI: 10.1016/j.rmcr.2022.101698 (症例報告), #0.28
- 2230221** Asai A, Suzuki F, Tsujiguchi H, Hara A, Miyagi S, Kannon T, Suzuki K, Nakamura M, Shimizu Y, Nguyen TTT, Pham KO, Kasahara T, Nakai S, Hayashi K, Shibata A, Amatsu T, Konoshita T, Kambayashi Y, Tsuboi H, Tajima A, Nakamura H: Relationship between fatty acid intake and chronic neck/shoulder/upper limb pain without elevated CRP in a Japanese population: a cross-sectional analysis of the Shika study. *J Nutr Sci*, 11, e38-e38, 20220601, DOI: 10.1017/jns.2022.37, #0.61
- 2230222** Yamada M, Suzuki J, Sato S, Zenimaru Y, Saito R, Konoshita T, Kraemer FB, Ishizuka T: Hormone-sensitive lipase protects adipose triglyceride lipase-deficient mice from lethal lipotoxic cardiomyopathy. *J Lipid Res*, 63(5), 100194-100194, 202205, DOI: 10.1016/j.jlr.2022.100194, #6.676
- 2230223** Pham KO, Hara A, Tsujiguchi H, Suzuki K, Suzuki F, Miyagi S, Kannon T, Sato T, Hosomichi K, Tsuboi H, Nguyen TTT, Shimizu Y, Kambayashi Y, Nakamura M, Takazawa C, Nakamura H, Hamagishi T, Shibata A, Konoshita T, Tajima A, Nakamura H.: Association between Vitamin Intake and Chronic Kidney Disease According to a Variant Located Upstream of the PTGS1 Gene: A Cross-Sectional Analysis of Shika Study. *Nutrients*, 14(10), 2082-2082, 202205, DOI: 10.3390/nu14102082, #6.706
- b. 原著論文 (審査無)**
- c. 原著論文 (総説)**
- d. その他研究等実績 (報告書を含む)**
- 2230224** Koga Y, Kamide Y, Hisada T, Ishizuka T: Editorial: Pathophysiological and clinical advances in asthmatic inflammation from the nasopharynx to the peripheral airway in the respiratory tract systems. *Front Pharmacol*, 14, 1037610, 20230116, DOI: 10.3389/fphar.2023.1037610, #5.988
- e. 国際会議論文**
- 2230225** Masaki K, Haruta J, Hyakutake M, Sakashita M, Ogawa Y, Inomata T, Kan-o K, Sato S, Nakajima S, Fukushima A, Morita H, Kanzaki S, Fukunaga K, Ishizuka T, Oyama N, Kidoguchi M, Yasutomi M, Adachi T: Formation of an Interdisciplinary and Multidisciplinary Learning Community for Allergy Education, The 54th Annual Meeting of the Japan Society for Medical Education, 137-137, 202208
- (3) 和文: 著書等**
- a. 著書**
- b. 著書 (分担執筆)**
- c. 編集・編集・監修**
- (4) 和文: 論文等**
- a. 原著論文 (審査有)**
- 2230226** 吉川 大介, 竹内 香代, 小宮 英朗, 木下 一之, 木村 浩彦, 梅田 幸寛, 左近 佳代, 辻川 哲也: 脳幹表面にFLAIR高信号を呈し、造影されない肺腺癌性髄膜炎の3例, 臨床放射線, 68(3), 291-296, 20230310, DOI: 10.18888/rp.0000002292 (症例報告)
- 2230227** 野々山 忠芳, 重見 博子, 成瀬 廣亮, 重見 研司, 松峯 昭彦, 石塚 全: 運動療法と栄養療法により筋力・骨格筋量が改善した集中治療室獲得性筋力低下の一例. *日本呼吸器ケア・リハビリテーション学会誌*, 30(3), 350-353, 20220930, DOI: 10.15032/jsrccr.30_3_350 (症例報告)
- b. 原著論文 (審査無)**
- c. 総説**
- d. その他研究等実績 (報告書を含む)**
- 2230228** 早稲田優子: 移植前後における栄養管理と移植後の食事指導, 必携 内科医のための臓器移植診療ハンドブック, 125-126, 20230321
- 2230229** 島田昭和, 早稲田優子: 実践! 画像診断Q&A—このサインを見落とすな 労作時呼吸困難のある40歳代男性. *レジデントノート*, 24(18), 3111-3112, 20230301
- 2230230** 此下忠志: 新規レニン-アンジオテンシン系因子AT4の高感度測定系とメンデルランダム化解析. *BIO Clinica*, 38(2), 171-174, 20230210
- 2230231** 此下忠志: 新規レニン-アンジオテンシン系因子アンジオテンシンIV受容体(AT4)の多型解析, *BIO Clinica*, 37(14), 1341-1345, 202212
- 2230232** 門脇麻衣子, 早稲田優子: 実践! 画像診断Q&A—このサインを見落とすな 症状、胸部X線所見に見合わない著明な低酸素血症を呈した80歳代男性. *レジデントノート*, 24(13), 2185-2186, 20221201
- 2230233** 石塚 全: アレルギー診療スキルアップ講座(No.11) 気管支喘息 ベーシック, *新薬と臨床*, 71(9), 980-989, 202209
- 2230234** 本定千知, 早稲田優子: 実践! 画像診断Q&A—このサインを見落とすな 食道癌治療中の40歳代男性. *レジデントノート*, 24(9), 1483-1484, 20220901
- 2230235** 此下忠志: 新規レニン-アンジオテンシン系因子アンジオテンシンIV受容体(AT4)の高感度測定系, *BIO Clinica*, 37(8), 770-774, 202208
- 2230236** 石塚 全: 【喘息の発症メカニズムと治療・管理】病態 気道平滑筋細胞 気流閉塞と気道リモデリングへの関与, *週刊 医学のあゆみ*, 281(1), 57-61, 20220402
- 2230237** 早稲田優子: 実践! 画像診断Q&A—このサインを見落とすな 破裂した金属片が前胸部に当たり救急搬送となった30歳代男性. *レジデントノート*, 24(4), 567-568, 20220401
- e. 国際会議論文**

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演 (口演)

d. 一般講演 (ポスター)

2230238

Konoshita T, Mizuya K, Azuma S, Kasahara M, Sugiyama M, Furutani M, Kaeriyama S, Nakaya T, Yamada M, Ichikawa M, Sato S, Imagawa M, Zenimaru Y, Suzuki J, Fujii M, Makino Y: Genetic association study of COVID-19 receptor ace2 with diabetic nephropathy., 31st European Meeting on Hypertension and Cardiovascular Protection, web, 20220617

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会 (全国レベル)

a. 招待・特別講演等

2230239

早稲田優子: 線維性過敏性肺炎の診断におけるイムノキャップ特異的IgG島検査の位置づけ, 第62回日本呼吸器学会学術講演会, 京都, 20220422

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演 (口演)

2230240

早稲田優子: 薬剤性肺炎と細菌性肺炎の鑑別における肺surfactant protein-Dの有効性., 日本肺サーファクタント・界面医学会 第57回学術研究会, 東京, 20220115

2230241

佐藤謙之, 梅田幸寛, 島田昭和, 園田智明, 森川美羽, 安齋正樹, 早稲田優子, 門脇麻衣子, 辻川哲也, 岡沢秀彦, 石塚 全: 進行非小細胞肺癌患者に対するPD-1抗体治療における18F-FLT PETを用いた早期治療効果予測., 第62回日本呼吸器学会学術講演会, 京都, 20220423

2230242

園田智明, 梅田幸寛, 出村芳樹, 多田利彦, 中嶋康貴, 山口牧子, 安齋正樹, 大井昌寛, 門脇麻衣子, 三ツ井美穂, 本定千知, 森川美羽, 黒川紘輔, 近澤 亮, 武田俊宏, 佐藤謙之, 島田昭和, 早稲田優子, 赤井雅也, 石塚 全: 進行非小細胞肺癌に対する免疫チェックポイント阻害薬投与後のnab-PTX単剤治療に関する第II相臨床試験., 第62回日本肺癌学会学術集会, web, 20211127

2230243

佐藤さつき, 鈴木仁弥, 竹田有加里, 弘瀬雅教, 笠原美沙子, 杉山光寿, 埴山 沙織, 山田実夏, 齊藤理恵, 銭丸康夫, 此下忠志: Perilipin2過剰発現による“脂肪心筋”が洞結節細胞に与える形態学的変化についての検討., 第53回日本動脈硬化学会総会・学術集会, web, 20211023

d. 一般講演 (ポスター)

2230244

早稲田優子, 木村聡美, 山岡幸司, 近澤 亮, 島田昭和, 園田智明, 山口牧子, 本定千知, 門脇麻衣子, 梅田幸寛, 安齋正樹, 加瀬一政, 石田千, 渡辺知志, 濱口俊一, 齋藤充史, 堀益 靖, 宮本 篤, 瀧木真一, 栗本典昭, 岡 輝明, 石井晴之, 高橋弘毅, 磯部 成, 石塚 全: BAL標本解析における再現性ならびに評価者間の一致率についての検討., 第62回日本呼吸器学会学術講演会, 京都, 20220422

2230245

中嶋康貴, 出村芳樹, 藤井裕也, 佐藤謙之, 五十嵐一誠, 石塚 全: Pseudo-progression による漿膜炎悪化後に免疫チェックポイント阻害剤の再投与に成功した非小細胞肺癌の2例., 第62回日本肺癌学会学術集会, web, 20211126

2230246

梅田幸寛, 安齋正樹, 早稲田優子, 門脇麻衣子, 本定千知, 園田智明, 山口牧子, 島田昭和, 三ツ井美穂, 近澤 亮, 木村聡美, 山岡幸司, 辻川哲也, 岡沢秀彦, 石塚 全: 非小細胞肺癌のFDG及びFLT集積とペメトレキセド及びS-1の治療効果との関連., 第62回日本呼吸器学会学術講演会, 京都, 20220422

2230247

山岡幸司, 梅田幸寛, 園田智明, 三ツ井美穂, 木村聡美, 近澤 亮, 島田昭和, 山口牧子, 本定千知, 門脇麻衣子, 早稲田優子, 安齋正樹, 石塚 全: 当院における肺扁平上皮癌に対するゲムシタピン+シスプラチン+ネシツムマブ療法の使用経験., 第62回日本呼吸器学会学術講演会, 京都, 20220424

2230248

山口牧子, 早稲田優子, 木村聡美, 山岡幸司, 近澤 亮, 黒川紘輔, 武田俊宏, 佐藤謙之, 中嶋康貴, 三ツ井美穂, 島田昭和, 園田智明, 本定千知, 森川美羽, 梅田幸寛, 門脇麻衣子, 安齋正樹, 石塚 全: 肺MAC症に対する滋陰至宝湯の効果の検討., 第62回日本呼吸器学会学術講演会, 京都, 20220422

2230249

山田実夏, 鈴木仁弥, 佐藤さつき, 齊藤理恵, 銭丸康夫, 此下忠志, 石塚 全: Adipose triglyceride lipase欠損マウスにおける脂肪心筋症の病態生理: リピドーム解析., 第54回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 福岡, 20220723

2230250

門脇麻衣子, 佐藤幸市, 近澤 亮, 三ツ井美穂, 島田昭和, 山口牧子, 園田智明, 梅田幸寛, 早稲田優子, 安齋正樹, 齋藤 悠, 古賀康彦, 久田剛志, 戸村秀明, 岡島史和, 石塚 全: ニッケル, コバルト刺激によるヒト気道平滑筋細胞のIL-6産生機序とステロイドの効果., 第62回日本呼吸器学会学術講演会, 京都, 20220422

2230251

石塚 全, 小田嶋博, 海老澤元宏, AndrewMenzies-Gow, 岡田広司, 戸清達朗, 林 暢哉, 滝川満美, GeneColice: コントロール不良な重症喘息の日本人患者におけるテゼベルマブの有効性: 第III相NAVI-GATOR試験., 第62回日本呼吸器学会学術講演会, 京都, 20220423

2230252

三ツ井美穂, 早稲田優子, 石塚 全, 安齋正樹, 梅田幸寛, 門脇麻衣子, 本定千知, 園田智明, 山口牧子, 島田昭和, 近澤 亮, 山岡幸司, 木村聡美: 当院で入院加療を行ったCOVID-19デルタ株患者61名の検討., 第62回日本呼吸器学会学術講演会, 京都, 20220423

e. 一般講演

f. その他

(3) 国内学会 (地方レベル)

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演 (口演)

2230253

安齋正樹, 三ツ井美穂, 竹内亜衣, 園田智明, 山口牧子, 本定千知, 門脇麻衣子, 梅田幸寛, 早稲田優子, 石塚 全: 進行期間質性肺炎におけるPICC挿入のpit fall., 第248回日本内科学会北陸地方会, 富山, 20220904

2230254

早稲田優子: 膠原病ILDの診断と治療のタイミング, 第88回日本呼吸器学会・日本結核 非結核性抗酸菌症学会 九州支部 春季学術講演会, web, 20220319

2230255

杉山光寿, 齊藤理恵, 東慎一郎, 埴山沙織, 古谷真知, 山田実夏, 佐藤さつき, 今川美智子, 銭丸康夫, 鈴木仁弥, 此下忠志: 可逆性脳梁膨大部病変を伴った高血糖高浸透圧症候群・糖尿病ケトアシドーシスの1例., 第95回日本糖尿病学会中部地方会, web, 20210904

業績一覧

- 2230256** 近澤 亮, 早稲田優子, 島田昭和, 竹内亜衣, 細川 泰, 木村聡美, 山岡幸司, 三ツ井美穂, 園田智明, 山口牧子, 本定千知, 門脇麻衣子, 梅田幸寛, 安斎正樹, 石塚 全, 左近佳代, 佐々木正人: Lap-Protectorを用いた低侵襲開窓術にて慢性過敏性肺炎に合併した続発性難治性気胸の外來管理を行えた1例., 第88回呼吸器合同北陸地方会, web, 20220529
- 2230257** 小林健寿, 左近佳代, 佐々木正人, 田中 楓, 岡田晃斉, 安斎正樹, 細川 泰, 山岡幸司, 木村聡美, 近澤亮, 三ツ井美穂, 島田昭和, 山口牧子, 園田智明, 門脇麻衣子, 早稲田優子, 梅田幸寛, 石塚 全: Endobronchial Watanabe Spigotが原因と思われる急性進行性気腫性肺囊胞の1例., 第88回呼吸器合同北陸地方会, web, 20220529
- 2230258** 東慎一郎, 笠原美沙子, 杉山光寿, 帰山沙織, 古谷真知, 齊藤理恵, 佐藤さつき, 銭丸康夫, 此下忠志, 石塚 全: 高齢者のアルコール多飲と低栄養によるペラグラの一例., 第32回日本老年医学会北陸地方会, 福井, 20211023
- 2230259** 早稲田優子, 木村聡美, 園田智明, 三ツ井美穂, 門脇麻衣子, 梅田幸寛, 安斎正樹, 江頭玲子, 田畑和宏, 佐藤康晴, 石塚 全: 間質性肺疾患単独のIgG4関連疾患と鑑別を要した抗ARS抗体症候群の一例., 第3回日本アレルギー学会北陸地方会, web, 20211128
- 2230260** 木村聡美, 梅田幸寛, 本定千知, 島田昭和, 安斎正樹, 近澤 亮, 三ツ井美穂, 早稲田優子, 石塚 全: 間質性肺炎の診断目的の行ったクライオ生検で判断しえたBRAF変異肺癌の1例., 第245回日本内科学会北陸地方会, 金沢, 20210905
- 2230261** 帰山沙織, 笠原美沙子, 杉山光寿, 山田美夏, 齊藤理恵, 佐藤さつき, 銭丸康夫, 此下忠志: 分娩時の高Na血症を契機に診断された中枢性尿崩症の1例., 第20回日本内分泌学会北陸支部学術集会, 金沢, 20211103
- 2230262** 野宮廣貴, 水屋賢太, 笠原美沙子, 三ツ井美穂, 山田美夏, 佐藤さつき, 齊藤理恵, 銭丸康夫, 此下忠志, 石塚 全: 非結核性抗酸菌症に合併した高カルシウム血症の1例., 第247回日本内科学会北陸地方会, 金沢, 20220619
- 2230263** 木村聡美, 梅田幸寛, 山口牧子, 山岡幸司, 近澤 亮, 三ツ井美穂, 島田昭和, 園田智明, 本定千知, 門脇麻衣子, 早稲田優子, 安斎正樹, 石塚 全: 粟粒影を呈したクライオ生検で診断しえたHTLV-1関連気管支肺胞異常症 (HABA) の1例., 第87回呼吸器合同北陸地方会, web, 20211031

d. 一般講演 (ポスター)

e. 一般講演

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演 (口演)

d. 一般講演 (ポスター)

e. 一般講演

f. その他

(C) 特許等

区分	内容 (発明の名称)	発明者又は考案者
----	------------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額 (配分額)
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額 (配分額)
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	IgG4関連肺疾患における自然リンパ球の役割とPD-1, PD-L1の関与	早稲田 優子	石塚 全, 川野 充弘, 松井 祥子, 山田和徳	20190401-20230331	¥390,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	PD-1抗体による腫瘍応答の統合型PET/MRを用いた多角的機能画像による検討	梅田 幸寛	石塚 全, 岡沢 秀彦	20190401-20230331	¥0
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	ヒト気道平滑筋細胞のサイトカイン、マトリセラー蛋白産生におけるステロイド抵抗性	石塚 全	門脇 麻衣子	20210401-20240331	¥1,430,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	レニン-アンジオテンシン系最終段階因子AT4の新規高感度測定法による病態解析	此下 忠志		20210401-20240331	¥1,300,000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	脂肪滴が洞房結節細胞のペースメーカー機能を障害するメカニズムの解析	佐藤 さつき		20210401-20240331	¥1,560,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究 (C)	肺癌の免疫治療における腫瘍免疫機能とPET/MRIを用いた画像情報の統合解析	梅田 幸寛	石塚 全, 岡沢 秀彦	20220401-20260331	¥1,430,000

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
受託研究	帝京大学, 聖マリアンナ医科大学	EGFR遺伝子変異陽性再発・進行非小細胞肺癌患者対象のAfinibまたはOsimertinibを一次治療とした無作為化非盲検第II相試験	石塚 全	20200507-20260331	¥1,500,000
受託研究	独立行政法人国立病院機構東京病院	フェノタイプ・エンドタイプの着目した本邦の喘息患者における3年間予後の検討	石塚 全	20181115-20231231	¥7,700

業績一覧

受託研究	国立大学法人東海国立大学機構	間質性肺炎に対する多施設共同前向き観察研究	早稲田 優子, 石塚 全, 梅田 幸寛, 安齋 正樹, 門脇 麻衣子, 本定 千知, 島田 昭和, 園田 智明, 山口 牧子, 三ツ井 美穂, 武田 俊宏, 黒川 繭輔, 近澤 亮	20201220-20251031	¥240,000
受託研究	一般社団法人九州臨床研究支援センター	進展型小細胞肺癌に対する化学療法+デュルバルマブ併用療法に同時または逐次放射線照射追加に関する安全性及び効果についての第II相試験 (SPIRAL-SMALL)	梅田 幸寛	20210315-20281130	¥0
受託研究	金沢医科大学病院, 株式会社総合医科学研究所	腎機能障害を合併した2型糖尿病患者に対するルセオグリフロジンの腎機能に及ぼす影響の検討	此下 忠志	20200824-20240430	¥0
受託研究	特定非営利活動法人 North East Japan Study Group	特発性間質性肺炎に対する多施設共同前向き観察研究 (NEJ030)	石塚 全	20170425-20240930	¥108,800
受託研究	学校法人順天堂	未治療進行非小細胞肺癌における悪液質の合併と化学療法に与える影響の観察研究 (NEJ050A)	石塚 全	20210423-20230331	¥0
受託研究	一般社団法人九州臨床研究支援センター	脳転移を有する未治療進行・再発非小細胞肺癌に対するラムシルマブとエルロチニブ併用療法の有効性と安全性に関する第II相試験 (SPIRAL-BRAIN)	梅田 幸寛	20220711-20270531	¥0
受託研究	WD日臨床研究株式会社	免疫チェックポイント阻害薬既治療進行再発肺扁平上皮癌に対するネシツムマブ/シスプラチン/ゲムシタピン療法の安全性と有効性を評価するための多機関後方視研究	梅田 幸寛	20220829-20230831	¥22,000

(B) 奨学寄附金

受入件数	25
受入金額	¥8,120,000

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
----	---------	-----	-----	-----

(B) 学会の喪種

学会の名称	役職	氏名
日本栄養療法協議会	幹事	石塚 全
日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会	評議員	石塚 全
日本肺癌学会北陸支部	評議員	石塚 全
日本内科学会	評議員	石塚 全
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	北陸支部長	石塚 全
日本結核・非結核性抗酸菌症学会	代議員	石塚 全
日本サルコイドーシス/肉芽腫性疾患学会	理事	石塚 全
日本職業・環境アレルギー学会	評議員	石塚 全
日本呼吸器学会	代議員	石塚 全
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	代議員	石塚 全
日本アレルギー学会	代議員	石塚 全
国際喘息学会日本北アジア部会	幹事	石塚 全
日本結核・非結核性抗酸菌症学会	教育・用語委員	石塚 全
肺移植関連学会協議会	委員	石塚 全
日本痛風・尿酸尿酸学会	一般会員	此下 忠志
American Society of Nephrology	一般会員	此下 忠志
European Society of Hypertension	一般会員	此下 忠志
日本リウマチ学会	一般会員	此下 忠志
日本糖尿病合併症学会	一般会員	此下 忠志
日本内分泌学会北陸支部	評議員	此下 忠志
日本心血管内分泌代謝学会	評議員	此下 忠志
日本糖尿病学会	一般会員	此下 忠志
日本臨床内科医会	一般会員	此下 忠志
European Renal Association	一般会員	此下 忠志
日本予防医学会	一般会員	此下 忠志
米国内分泌学会	一般会員	此下 忠志
日本老年医学会	一般会員	此下 忠志
日本内科学会	一般会員	此下 忠志
日本動脈硬化化学会	一般会員	此下 忠志
北陸循環器疾患薬物療法研究会	幹事	此下 忠志
欧州腎臓学会	一般会員	此下 忠志

業績一覧

国際腎臓学会	一般会員	此下 忠志
International Society of Hypertension国際高血	一般会員	此下 忠志
日本高血圧学会	一般会員	此下 忠志
日本腎臓学会	評議員	此下 忠志
日本腎臓学会	編集委員	此下 忠志
日本透析医学会	一般会員	此下 忠志
日本内科学会北陸支部	事務局長	此下 忠志
日本内科専門医会	一般会員	此下 忠志
日本内分泌学会	評議員	此下 忠志
日本循環器学会	一般会員	此下 忠志
日本高血圧学会	評議員	此下 忠志
American Thoracic Society	一般会員	早稲田 優子
日本咳嗽学会	一般会員	早稲田 優子
日本アレルギー学会	一般会員	早稲田 優子
日本感染症学会	一般会員	早稲田 優子
日本リウマチ学会	一般会員	早稲田 優子
日本結核・非結核性抗酸菌症学会	一般会員	早稲田 優子
日本呼吸器内視鏡学会	一般会員	早稲田 優子
日本内科学会	一般会員	早稲田 優子
日本シューグレン症候群学会	一般会員	早稲田 優子
日本呼吸器学会北陸支部	評議員	早稲田 優子
日本呼吸器学会	代議員	早稲田 優子
日本呼吸器学会	一般会員	早稲田 優子
The Japan Lung Cancer Society	一般会員	梅田 幸寛
日本呼吸器内視鏡学会	評議員	梅田 幸寛
日本内科学会	一般会員	梅田 幸寛
The Japanese Society for Tuberculosis	一般会員	梅田 幸寛
Japanese Society for Allergology	一般会員	梅田 幸寛
日本呼吸器学会	一般会員	梅田 幸寛
Japanese Society of Medical Oncology	一般会員	梅田 幸寛
日本呼吸器内視鏡学会	一般会員	梅田 幸寛
The Japanese Respiratory Society	一般会員	梅田 幸寛
日本結核・非結核性抗酸菌症学会	一般会員	梅田 幸寛
日本肺癌学会	一般会員	梅田 幸寛
日本アレルギー学会	一般会員	梅田 幸寛
日本臨床腫瘍学会	一般会員	梅田 幸寛
Japan Society for Respiratory	一般会員	梅田 幸寛
The Japan Society for Respiratory Care and Rehabilitation Medicine	一般会員	梅田 幸寛
The Japanese Society of Internal	一般会員	梅田 幸寛
日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	一般会員	梅田 幸寛

(C) 座長

国内学会 (全国レベル)	学会名	氏名
-----------------	-----	----

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	査読・編集	委員長(主査)・委員の別	氏名	査読編数
----------	-------	--------------	----	------

(E) その他